

委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 公益財団法人吹田市国際交流協会

1. 事業名称 SIFA日本語学習支援事業

2. 事業の目的

吹田市で暮らす生活者としての外国人が、より効果的に、より身近な場所で日本語教育を受けられる機会を提供する。そのため、多文化共生の意識と優れた指導スキルをもったボランティアを養成する。
既存の1対1クラスは効果的に機能しているが、受け入れ可能人数を増やす必要があるため、それに加えて少人数クラスを新設し、持続可能な教室運営を目指す。
当該事業の修了者が協会事業や市内の教室で活躍することによって、地域における国際理解や多文化共生を推進することを目的とする。

3. 事業内容の概要

【日本語教育の実施】

より多くの学習者に対応するために、1対1クラスの他に、少人数クラスを新設する。
新規・既存の日本語クラスで、当該事業で作成する日本語ポートフォリオを活用して、レベルチェックや能力評価を継続的に行う。

【人材の養成・研修】

多文化共生に理解があり、指導スキルをもった日本語ボランティアを養成する。新規ボランティアの拡充と既存ボランティアのスキルアップを図るものとする。

【教材の作成】

少人数クラスで使用するための教材をカリキュラム案を参考に作成する。
より効果的に学習するために、学習者・指導者双方が活用できる日本語ポートフォリオも合わせて作成する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 6月21日 (土) 15:00～ 18:00	3時間	SIFA会議室	新矢麻紀子 澤田幸子 伊藤美智代 小寺憲美 榎原朋子 坂部嘉代 藩寧 山本祐子 林詩	1運営委員紹介 2吹田市の外国人・ 日本語教育の現状 について 3事業の目的につい て 4各事業について 5今後の運営委員会 について	・少人数クラスは10月または11月から3末まで実施する。 ・ポートフォリオを利用し、ボランティア・学習者双方のふり返りを促す。 ・養成講座は9月以降実施。3時間X10回。座学と実践を行う。早い段階で、異文化コミュニケーションやボランティアの役割について考える講座を組み込む。定員は会場スペースを考慮の上、30名～40名とする。 ・少人数クラス実施と教材作成は並行して行う。教材作成は7月から着手する。 ・教材の内容は、国際交流・地域理解・人間関係の構築を考慮して、ボランティアが使いやすい教材を作成する。
2	平成26年 9月13日 (土) 14:00～ 17:00	3時間	SIFA会議室	澤田幸子 伊藤美智代 小寺憲美 榎原朋子 坂部嘉代 藩寧 山本祐子 林詩	1各事業の中間報告 ・日本語教室の実施 ・外国人と地域をつ なぐ日本語ボラン ティア養成講座 ・教材/ポートフォリ オの作成 2今後の運営委員会 について	・少人数クラスは11月22日から14回実施する。9月下旬より学習者募集をする。4言語でチラシを作成する。対象レベルは初級から中級とする。 ・養成講座は定員35名に対して45名の応募があった。受講者45名だと実践演習で全員が体験することが難しくなる。途中で受講キャンセルをする人もいるので、会場スペースを確認して受講人数を決定する。 ・養成講座開催期間中に、当協会および市内ボランティア団体のボランティア登録会を実施する。懇親会も実施する。 ・毎回アンケートを実施する。自由記述の方が受講者の意見を聞き取りやすい。アンケート用紙は5回分を1枚のシートにして、受講者が自身の気づきをふり返ることができるようにする。 ・10回中8回以上出席した方に修了証を発行する。 ・教材は年間40回の教室実施を想定して40回X90分の教材を作成予定。今年度教室実施の14回分を先行して作成する。ボランティア用の活動の手引きを作成する。 ・カリキュラム案をもとに、教材テーマについて意見をもらう。 ・子どもポートフォリオの概要を説明。文科省DLAを参考に作成する。

3	平成27年 3月9日 (月) 14:30～ 16:30	2時 間	SIFA会議室	新矢麻紀子 澤田幸子 伊藤美智代 小寺恵美 榎原朋子 坂部嘉代 藩寧 山本祐子 林詩	1各事業の報告 ・日本語教室の実施 ・外国人と地域をつ なぐ日本語ボラン ティア養成講座 ・教材/ポートフォリ オの作成 2今後の課題 3運営委員からのご 意見・ご提案	各事業について事務局から報告した後、ご意見をいただく。 ◇日本語教室の実施について ・次年度スタートする前に、ボランティアに教室の趣旨を丁寧に説明する必要がある。 ・今年度ボランティア経験者を中心に、ゼロ初級者の対応を検討していく。 ・グループコーディネーターを選出し、持続可能な体制を整える必要がある。毎週参加できるボランティアを中心に活動を組み立てていった方がよい。 ・研修や活動の感想を語る場を設けてボランティアの帰属意識を高め、自立した活動を目指していく。 ◇ボランティア養成講座について ・新規養成の研修だけでなく経験者のための研修も必要で、グループ活動に関しては、今後も継続して研修を行う必要がある。 ・ボランティアが他機関の研修に参加する際に参加費や交通費を負担することも検討する。 ◇教材について ・実際に活動で使用する中で適宜修正箇所を記録していき、次回は改訂版を作成するとよい。
---	---	---------	---------	--	---	---

5. 日本語教育の実施

- (1) 講座名称 にこにこ日本語
- (2) 目的・目標

地域の一員として必要な日本語を学ぶ機会を提供する。今後も継続可能な形態を模索する。
日本語ポートフォリオを活用して、学習者の状況を客観的に把握し、より効果的な学習につなげる。

- (3) 対象者 日本語初級～中級の外国人(簡単な会話ができる人)
- (4) 開催時間数(回数) 21時間 (全14回)
- (5) 使用した教材・リソース

本事業で作成した教材および活動の手引き

- (6) 受講者の総数 33 人
- 出身・国籍別内訳

中国	18人	インドネシア	人	イギリス1人、アメリカ1人、台湾3人
韓国	6人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	2人	
ネパール	人	日本	1人	

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年 11月22日 (土) 13:30～ 15:00	1.5時 間	千里市民セン ター	15人	中国:10、日 本:1、米:1、 台湾:2、韓 国:1	「はじめまして」	「はじめまして」の教材を使用し、養成講座の活動実践として実施した。	講師:澤田幸子(養成講座) 指導者:ボランティア	坂部嘉代
2	平成26年 11月29日 (土) 13:30～ 15:00	1.5時 間	千里市民セン ター	14人	中国:7、韓国:2、日本:1、台湾:2、イギリス:1、フィリピン:1	「インフルエンザにご注意！」	「インフルエンザにご注意！」の教材を使用し、養成講座の活動実践として実施した。	講師:矢谷久美子(養成講座) 指導者:ボランティア	坂部嘉代
3	平成26年 12月13日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	13人	中国:8、韓国:1、日本:1、フィリピン:1、台湾:2	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用して教室活動を実施した。	指導者:ボランティア	榎原智子、坂部嘉代
4	平成26年 12月20日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	11人	中国:7、韓国:2、日本:1、イギリス:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用して教室活動を実施した。活動後、ボランティアミーティングを実施した。	指導者:ボランティア	榎原智子
5	平成27年 1月10日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	10人	中国:6、米:1、日本:1、フィリピン:2	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用して教室活動を実施した。	指導者:ボランティア	
6	平成27年 1月17日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	11人	中国:5、米:1、韓国:2、日本:1、イギリス:1、台湾:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用して教室活動を実施した。	指導者:ボランティア	

7	平成27年 1月24日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	9人	中国:5、韓 国:2、日本: 1、台湾:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。	指導者:ボラ ンティア	
8	平成27年 1月31日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	10人	中国:8、韓 国:2	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。活動後、 ボランティアミーティングを実施し た。	指導者:ボラ ンティア	榎原智子
9	平成27年 2月7日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	7人	中国:5、韓 国:1、日本:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。	指導者:ボラ ンティア	
10	平成27年 2月14日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	11人	中国:8、韓 国:1、日本: 1、米:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。	指導者:ボラ ンティア	
11	平成27年 2月21日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	15人	中国:9、韓 国:3、日本: 1、米:1、フィ リピン:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。	指導者:ボラ ンティア	
12	平成27年 2月28日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	13人	中国:8、韓 国:2、日本: 1、米:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。	指導者:ボラ ンティア	
13	平成27年 3月7日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	12人	中国:8、韓 国:1、日本: 1、米:1、フィ リピン:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。	指導者:ボラ ンティア	
14	平成27年 3月7日 (土) 10:30～ 12:00	1.5時 間	SIFA会議室	12人	中国:9、韓 国:2、フィリ ピン:1	日本語交流活動	4班に分かれ、作成した教材を使用 して教室活動を実施した。活動後、 ボランティアミーティングを実施し た。	指導者:ボラ ンティア	榎原智子

(8) 受講者の募集方法

募集チラシを作成し市内の日本語教室や公共施設などに配布

当協会のHP、facebook、ニュースレターによる周知など

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第1回、第2回は養成講座の中で活動実践として行った。約40名の講座受講者に囲まれての活動だったため、始めはやや緊張が見られた。初めて外国人と接するボランティアもいたため、講座で学んだ「やさしい日本語」や「ボランティアばかり話しすぎない」という基本的な会話の心得を実践することが難しいようであった。第3回以降、ボランティア2名、学習者最大5名のグループ学習を行った。同時進行で作成を進めた教材の中からテーマを選び、それぞれに工夫を凝らした活動を行った。

(10) 目標の達成状況・成果

地域住民であるボランティアと学習者がさまざまなテーマについて対話する中で自然と交流することができた。市内では土曜日の日本語教室が1か所しかなかったため、新たに土曜日のクラスを実施してほしいとの要望が以前から寄せられていた。会社員や子ども連れの学習者も参加することができた。次々と学習希望者が来たが、退会する人も多く、その理由は不明である。なぜ退会したのか、活動内容に改善すべき点があるのか、検証していく必要がある。ラジオ体操や防災のテーマでは、2グループ一緒に活動を行うなど、クラス内での交流も見られた。

(11) 改善点について

教材が初級者以上を対象としているため、入門の学習者には難しく、学習者・ボランティア双方にとって満足のいく活動とは言えなかった。今後は入門者に対応するために本教材以外の教材を活用するなど対応を検討する。
第2回までは小学生も受け入れていたが、対話型の教室では大人とは話せることも異なるので、第3回以降は中学生以上の制限を設けた。小学生の希望者も多いので今後の課題である。
月1回ボランティアミーティングを実施して自主的な運営を目指してきた。4月以降、新たなボランティアも加入するので、新規ボランティアの育成、さまざまな学習者(入門者、子どもなど)に対応できるボランティアの育成が課題である。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称
外国人と地域をつなぐ日本語ボランティア養成講座
(2) 目的・目標

多文化共生への理解があり、地域で共に暮らす外国人を支援できるボランティアの裾野を広げること。
グループ学習クラスの立ち上げを通して、今後それぞれの教室で生かせるよう、教室活動の組み立て方を実践的に学ぶ。

- (3) 対象者
地域日本語教室でボランティア活動をしている方・活動したい方、全10回参加できる方
(4) 開催時間数(回数) 30 時間 (全10回)
(5) 使用した教材・リソース
各回講師がレジュメ作成
(6) 受講者の総数 43 人
出身・国籍別内訳

中国	1人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	42人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年 10月4日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	南千里地区公 民館	40人	日本:39 中国:1	多文化共生と日本語 ボランティア	日本、吹田市における在住外国人 の状況を知る 多文化共生社会における日本語教 室・日本語ボランティアの意義・役割 わたしたちの地域の未来像を考える (グループワーク)	土井佳彦	潘寧、坂部嘉代
2	平成26年 10月11日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	千里市民セン ター	39人	日本:38 中国:1	異文化コミュニケー ション	識字教育と日本語教育 日本語を学ぶ意味 日本の「常識」の中で暮らす外国人 互いの文化や価値観を尊重し、信 頼関係を築く わからないことばの疑似体験(グ ループワーク)	森 実	坂部嘉代
3	平成26年 10月18日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	千里市民セン ター	42人	日本:41 中国:1	外国にルーツをもつ 子どもの日本語支援	外国にルーツをもつ子どもの現状に ついて学ぶ 日本語学習・教科学習・居場所の大 切さ 大人と子どもの支援の違い、配慮す べきこと	櫻井千穂	潘寧

4	平成26年 11月1日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	南千里地区公 民館	34人	日本:33 中国:1	他地域の日本語学 習支援に学ぶ	ひまわり21の活動紹介 なぜ地域とつながることが大切なの か 日本語教室に関わる人や地域がど う変わったか 吹田でできる「地域とつながる活動」 について考える(グループワーク)	伊藤美智代	坂部嘉代
5	平成26年 11月8日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	千里市民セン ター	37人	日本:36 中国:1	やさしい日本語で話 そう!	日本語とはどんな言語か、外国人に とって何が難しいか 日本語や自分の話し方を見直す やさしい日本語、日本語が話せない 人との活動	澤田幸子	坂部嘉代
6	平成26年 11月15日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	千里市民セン ター	39人	日本:38 中国:1	演習①活動のすす め方	1対1との活動の違い(メリット、気を つけること、難しい点など) 使用する教材・ポートフォリオの使い 方を学ぶ 活動の組み立て方を学ぶ、事前に 何を準備したらいいか 講座受講者同士で模擬実践	澤田幸子	坂部嘉代
7	平成26年 11月22日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	千里市民セン ター	36人	日本:36	演習②模擬授業、活 動実践	前半:グループごとに活動実践 後半:講師からのアドバイス、グ ループでうまくいった点、難しかった 点などをふりかえり共有し、改善策 を考える	澤田幸子	坂部嘉代
8	平成26年 11月29日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	千里市民セン ター	37人	日本:36 中国:1	演習③活動実践	前半:グループごとに活動実践 後半:講師からのアドバイス、グ ループでうまくいった点、難しかった 点などをふりかえり共有し、改善策 を考える	矢谷久美子	坂部嘉代
9	平成26年 12月6日 (土) 13:30～ 16:30	3時 間	南千里地区公 民館	37人	日本:37	これからの活動に向 けて	9回の講座をふりかえり、今後日本 語ボランティアとしてどうありたい か、何ができるか、地域の一員と して自分にできることを考える(第1回・ 第2回のグループワークテーマにつ いて再度考える)	澤田幸子	坂部嘉代
10	平成27年 2月21日 (土) 13:30～ 16:30	3時間	千里市民センタ	23人	日本:23	活動をふりかえる	それぞれの教室での活動報告、活 動の評価、課題、見直し、改善方法 をグループで考える 教材活用法 ボランティアが主体的に教室運営に 関わる教室づくりを目指す!	澤田幸子	坂部嘉代

(8) 受講者の募集方法

募集チラシを作成し市内の日本語教室や公共施設などに配布
当協会のHP、facebook、ニュースレター、吹田市報による周知など

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第6回でボランティア同士で模擬授業をし、第7回、第8回講座の前半90分は学習者が入って実際の学習活動を行った。後半90分は実践活動のふりかえりを行い、講師からのアドバイスやグループ内での課題解決などに取り組んだ。

(10) 目標の達成状況・成果

協会自主事業としてはお招きすることが難しい多方面でご活躍の講師陣や他地域での先進的な取り組みを10回の講座を通して学ぶことができた。
募集人数35名に対して45名の応募があった。45名中43名受講。内、35名が8回以上出席(修了証発行)、途中キャンセルは2名、と出席率が高く、吹田市での日本語ボランティアのニーズが高いことがうかがえた。
活動実践を講座に入れたことで、準備・実践・振り返り・改善、と具体的な活動の流れを体験を通して学ぶことができた。
アンケート結果は、とても良い:20名/良い:9名、ふつう・良くない:0名であった。
第8回講座終了後に当協会および市内のボランティア教室4グループへのボランティア登録会を実施し、25名が登録をして活動につながった。新クラスのボランティアも20名確保できて目標を達成できた。

(11) 改善点について

10回連続講座としたが、第10回は2か月半あけて実施した。ボランティアがそれぞれの活動実践を持ち寄って振り返るという狙いだったが、第10回だけ極端に受講者が少なかった。前半、後半に分けた方が出席率が良かったのではないと思う。
今年度グループ学習活動をするボランティア養成を行ったが、ボランティアにとっても協会にとっても初めてのグループ活動で試行錯誤をしながら進めているところである。次年度以降、ブラッシュアップ研修や新規ボランティア育成が課題となる。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称
- ①日本語交流活動教材『にこにこ』(少人数クラス用のテキストおよび活動の手引き)
 - ②子どもポートフォリオ「個人カルテ」「日本語レベルチェックシート」「今月の目標」「自己評価」「学習記録」「ふりかえりシート」
- (2) 対象
- ①初級～中級学習者およびボランティア
 - ②小学生～高校生までの学習者とその指導者
- (3) 目的・目標
- ①グループ学習で活用できる、吹田市での生活に役立つ実践的な教材を作成する。
 - ②簡潔で活用しやすいポートフォリオを作成する。
- (4) 構成・総ページ数
- 日本語交流活動教材『にこにこ』テキストおよび活動の手引き:各72ページ
子どもポートフォリオ:8ページ
- (5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 7月22日 (火) 17:30～ 20:30	3時間	SIFA会議室	榎原智子 坂部嘉代 林詩	少人数クラスで使用する教材について検討	カリキュラム案や外国人アンケート結果、他機関が作成した教材を参考に、吹田ではどのような内容・形式のものを作成するか検討をした。次回編集メンバー全員の会議で、今回の提案も考慮して具体的な内容を決定する。
2	平成26年 7月27日 (日) 10:00～ 13:30	3.5時間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用する教材について検討	カリキュラムの構成案及びSIFAの教室に通っている学習者へのアンケート結果、他機関が作成した教材を参考に、吹田市の生活者のニーズに相応しい具体的な教材内容及び形式について検討。四季に分けて構成し、季節にあった吹田のイベントなども話題とすることを検討。
3	平成26年 8月3日 (日) 10:00～ 15:30	5.5時間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用する教材について検討	カリキュラム案や他の自治体の教材サンプルを参考に、前回までに決定したカリキュラムの枠組みと四季に合わせたトピックに沿って、編集委員によって考案された素案を基に、各トピックに入れる内容と活動を検討する。11月から14回分の教材項目を決定する。
4	平成26年 8月29日 (金) 13:00～ 16:30	3.5時間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオについて検討	SIFAの日本語学習支援事業の現状を検討し、子どもに適するポートフォリオの形式を考案する。使いやすい「個人カルテ」、「レベルチェックシート」、「ポートフォリオ」の枠組みを立てる。地域の教室でも活用できるよう、汎用性のあるものを目指す。
5	平成26年 9月3日 (水) 10:00～ 15:30	5.5時間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用する教材および成人学習者用ポートフォリオについて検討	成人学習者のための学習ポートフォリオの形式及び実施方法。各自作成した教材素案の検討。教材全体のバランスを考え、書式、分量、活動の内容を検討。
6	平成26年 9月10日 (水) 10:00～ 13:30	3.5時間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオについて検討	個々の子どもたちの学習状況を把握するために、子どもたちに関する情報収集及び整理をポートフォリオに集約する方法を考案する。前回の議論を基に作成された「個人カルテ」について検討する。

7	平成26年 10月1日 (水) 9:00～ 11:30	2.5時 間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	「レベルチェックシート」、「学習計画」の素案を検討し、修正方向を決める。
8	平成26年 10月2日 (木) 13:00～ 17:30	4.5時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原朋子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	追加予定のテーマの内容と活動を検討する。 各自修正を行った教材素案について検討する。 ボランティア用「活動の手引き」の書式と指示文の書き方を統一する。
9	平成26年 10月29日 (水) 9:30～ 11:30	2.5時 間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	「レベルチェックシート」の素案を検討し、修正方向を決める。 「レベルチェックシート」の項目とレベルを判断する基準について検討 する。
10	平成26年 11月2日 (日) 10:00～ 15:30	5.5時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	訂正された教材素案の検討、最終確認をする。 教材テキスト及び活動の手引きの書式の統一。
11	平成26年 11月9日 (日) 16:30～ 20:30	4時 間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	「レベルチェックシート」の素案を検討し、修正方向を決める。 「レベルチェックシート」の項目とレベルを判断する基準について検討 する。
12	平成26年 12月2日 (水) 13:00～ 17:30	3.5時 間	SIFA会議室	小谷恭子 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	「レベルチェックシート」の検討、スクリプトを完成させる。
13	平成26年 12月2日 (水) 13:00～ 17:30	4.5時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	各自修正を行った教材素案について検討する。 追加予定のテーマの内容と活動を検討する。 養成講座で実践中の少人数クラスの実施状況を報告する。 新しいテーマを決める。
14	平成26年 12月18日 (木) 10:00～ 17:30	7.5時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	各自修正を行った教材素案について検討する。 追加予定のテーマの内容と活動を検討する。 養成講座で実践中の少人数クラスの実施状況を報告する。
15	平成26年 12月20日 (土) 9:00～ 12:00	3時 間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	「学習計画」の形式を決める。シンプルな形式を目指す。
16	平成27年 1月7日 (水)9:00 ～11:30	2.5時 間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	「今年の目標」、「学習記録」、「自己評価」「勉強についての経験をシェアする会」の案を検討する。
17	平成27年 1月18日 (日)10:00 ～17:30	7.5時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	各自修正を行った教材素案について剣道する。 追加予定のテーマの内容と活動を検討する。 「にこにこ日本語」の実施状況について報告し、共有する。

18	平成27年 1月24日 (土) 10:00～ 13:20	3時 間20 分	SIFA会議室	小谷恭子 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	レベルチェックについて (1)未定部分について検討、内容を決めること。 (2)聞く・読むは、何回にする？ (3)聞く・読むでは、キーワードのイラストを提示？ (4)読むに使われる文章には、ルビや分かち書きなどはどうする？ 学習計画について (5)子どもが毎回記録するノートの名前は、どうする？
19	平成27年 2月5日 (木) 10:00～ 17:30	7.5時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	訂正された教材素案の検討。未完成テーマに意見を交わす。 実際に教室で実施した後のコメント及びボランティアのミーティング結 果をもとに改訂する。 追加テーマのアイデアの検討。
20	平成27年 2月7日 (土) 10:00～ 13:20	3時 間20 分	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	レベルチェックについて (1)スクリプトなどの未定部分について検討する (2)チェック項目について検討する (3)次回までにやってくる
21	平成27年 2月19日 (木) 11:45～ 18:30	6時 間45 分	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	訂正された教材素案の検討。未完成テーマに意見を交わす。 実際に教室で実施した後のコメント及びボランティアのミーティング結 果をもとに改訂する。
22	平成27年 2月25日 (水) 10:00～ 13:20	3時 間20 分	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	(1)「みんなの学習法」シートについて検討 (2)チェック項目について検討 (3)「話す」「書く」のスクリプトについて検討 (4)次回までにやってくる
23	平成27年 3月11日 (水) 10:00～ 18:00	8時 間	SIFA会議室	澤田幸子 矢谷久美子 榎原智子 坂部嘉代 潘寧 林詩	少人数クラスで使用 する教材について検 討	教材の最終校正。新しくなった教材に対しての意見交換 にこにこ教室での教材実施を検討
24	平成27年 3月11日 (水) 10:00～ 13:00	3時 間	SIFA会議室	小谷恭子 潘寧 汪南雁 林詩	子どもポートフォリオ について検討	(1)「みんなの学習法」シートについて検討 (2)チェックシートについて検討 (3)「話す」「書く」のスクリプトについて検討 (4)学習ノートの中身について (5)その他 (6)次回までにやってくる

(6) 使い方

- ①学習者(初級から中級の成人学習者対象)とボランティアがさまざまなテーマについて5人程度のグループで学ぶ。自らの考えや経験を話す中で、日本語を学び相互理解を深めていく。テキストは学習者とボランティア双方が持ち、ボランティアは別冊の活動の手引きに沿って進める。
- ②日本語レベルチェックはスタッフが実施し、結果をボランティアと共有し、指導につなげる。学習ノートは子どもが所持し、毎回記録することで、自分自身の日本語学習について振り返る。

(7) 具体的な活用例

- ①学習者(初級から中級の成人学習者対象)とボランティアがさまざまなテーマについて5人程度のグループで学ぶ。自らの考えや経験を話す中で、日本語を学び相互理解を深めていく。テキストは学習者とボランティア双方が持ち、ボランティアは別冊の活動の手引きに沿って進める。
- ②日本語レベルチェックはスタッフが実施し、結果をボランティアと共有し、指導につなげる。学習ノートは子どもが所持し、毎回記録することで、自分自身の日本語学習について振り返る。レベルチェックの結果を学校に報告して、学校での支援の参考としてもらう。

(8) 成果物の添付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

吹田市で暮らす生活者としての外国人が、より効果的に、より身近な場所で日本語教育を受けられる機会を提供する。そのため、多文化共生の意識と優れた指導スキルをもったボランティアを養成する。既存の1対1クラスは効果的に機能しているが、受け入れ可能人数を増やす必要があるため、それに加えて少人数クラスを新設し、持続可能な教室運営を目指す。当該事業の修了者が協会事業や市内の教室で活躍することによって、地域における国際理解や多文化共生を推進することを目的とする。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

養成講座の受講者によって新たな教室が誕生した。講座を通して教室の立ち上げをしたことで、教室の目的や活動スタイルを十分に伝えることができた。教室はみんなが笑顔になり、来週もまた来たいと思える場所になるようにとの願いを込めて「にこにこ日本語」という名称にした。レベルもニーズも異なる複数の学習者とともに活動していくのかと不安の中で始まったが、グループ学習という新たな活動スタイルの基礎は習得することができた。作成した教材は、身近な話題が多く活動を展開しやすく、また、ていねいな手引きがあるので使いやすいとボランティアからも好評を得ている。ボランティアも作成に関わったことで、吹田のテキストとして愛着を持って長く活用していくことが期待できる。子どもポートフォリオも一冊のノートにまとめて子どもが毎回記録しており、習慣づけることで自らの学習を顧みる材料となることが期待できる。3事業に取り組んだことで、協会と共に日本語教室を支えていくボランティアの養成、地域で外国人と日本人が交流を深める日本語教室の開設、その教室で使う教材作成、と吹田での日本語教育事業を進めていく礎を築くことができた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

カリキュラム案の項目を参考に教材テーマを検討した。また、カリキュラム案ガイドブックの「活動方法の例の具体的内容」を参考に活動方法を検討した。消費活動に関する項目が特に多いことに気づいたが、学習者の要望はあまり多くないため、来日間もない学習者でなければ特に困ってはいないと判断し、36ユニット中1ユニットのみで扱うこととした。カリキュラム案を参考に、地域のことを知り、関心や愛着を持ってもらえるきっかけになるテーマを盛り込んだ。文化庁HPではさまざまな機関で作成された多彩な教材が掲載されているがほとんど活用されていないのではないかと。既存の教材を十分に活用できるように発信してほしい、と運営委員から要望が出された。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

市内日本語ボランティアグループで活動するボランティアが養成講座に参加して学ぶ機会を提供できた。また、養成講座受講者対象のボランティア登録会への参加を呼びかけ、4団体が参加してボランティア募集を行い、その後7名が活動につながった。吹田市教育委員会にもボランティアを紹介して市内小学校での日本語支援につながった。近隣市で活動するボランティアも養成講座にオブザーバーとして参加し、情報共有を行った。

(5) 改善点、今後の課題について

本事業により吹田市における日本語教育事業の一定の成果は得られたが、継続的にボランティア育成・教室運営支援・財政的基盤の安定化、地域との連携などに取り組んでいくことが今後の課題である。吹田市には大学が5つあり、留学生や研究生の増加に伴いその家族も増加している。地域の日本語教室の質的量的充実化はもとより、学校等での子どもの日本語支援ができる人材を教育委員会と連携して育成していくことも課題と考える。

(6) その他参考資料

■運営委員会



■編集会議



■ボランティア養成講座



第1回



第4回

■日本語教室





「にこにこ日本語」のオリジナルテキストを使って、ボランティアと一緒に
少人数のグループで勉強します。

吹田での暮らし、日本のマナーや習慣、季節の行事、友だちとのコミュニケーション
などのテーマについて、たくさん日本語で話しましょう！

期 間 11月22日(土)～2015年3月14日(土) <全14回>

時 間 11月22日と11月29日・・・13:30～15:00

12月6日～3月14日・・・10:30～12:00

場 所 SIFA他

対 象 日本語初級～中級の外国人(簡単な会話ができる人)

定 員 先着15人

参加費 無料

申込み 電話かメールでSIFAまで ※途中からでも空いていたら参加できます

お申込み・お問い合わせ

公益財団法人 吹田市国際交流協会 - SIFA
Suita International Friendship Association

〒565-0862 吹田市津雲台 1-2-1 千里ニュータウンプラザ 6 階
Senri Newtown Plaza 6F, 1-2-1 Tsukumodai, Suita City

☎ 06-6835-1192

✉ info@suita-sifa.org

🏠 http://suita-sifa.org

NikoNiko Japanese Class



New classes
beginning soon!

Study Japanese in a small group with a volunteer using an original textbook.

Let's practice speaking Japanese about various topics such as Japanese customs/ manners, lifestyle and communication with friends.

Date Saturdays from November 22 to March 14, 2015 (14 lessons)

Time November 22 to November 29 - 13:30~15:00

December 6 to March 14 - 10:30~12:00

Place SIFA and other places nearby

Who can join Foreigners who wish to study Japanese. Basic to intermediate learners.

Capacity The First 15 people

Cost Free

Application contact SIFA by phone or e-mail.

Note You can join the class at any time, even after the starting date (space allowing)

笑眯眯 日语班



新班招生

使用SIFA自编教材,与志愿者一起进行小组学习。
以在吹田的生活、日本的礼节和习惯、季节活动、
跟朋友的沟通等不同主题、展开各种日语对话。

日期 11月22日(六)~2015年3月14日(六) <共14回>

时间 11月22日 和11月29日...13:30 ~ 15:00

12月6日 ~ 3月14日...10:30 ~ 12:00

地点 SIFA等

对象 日语初级 ~ 中级程度的外国人(会简单会话的人)

定员 先到的15人

参加费 免费

申请 打电话或寄邮件到SIFA ※在课程开始期间,若有空位的话也可以参加

니꼬니꼬 일본어



새로운 클래스가
시작됩니다!

오리지널 교재를 사용하여 자원봉사자와 함께 소인원 그룹으로 공부합니다.

스이타시에서의 생활, 일본의 매너·습관, 연중행사, 친구들과의 커뮤니케이션 등

여러가지 주제에 대해 일본어로 이야기해 보세요!

기간 11월22일(토) ~ 2015년 3월14일(토) <14회>

시간 11월22일, 11월29일...13:30 ~ 15:00

12월 6일 ~ 3월14일...10:30 ~ 12:00

장소 SIFA외

대상 일본어초급 ~ 중급의 외국인 (간단한 회화가 가능하신분)

정원 선착순15명

참가비 무료

신청 SIFA로 전화 또는 메일 ※기간중 공석이 생기면 참가가능합니다

外国人と地域をつなぐ

費用
無料

日本語ボランティア養成講座

日本で暮らす外国人の現状を学び、地域でできる日本語支援について考えましょう。

この講座では、11月から始まるグループ学習クラスの立ち上げを通して、今後それぞれの教室で生かせるよう、教室活動の組み立て方を実践的に学びます。

会 場

① 千里市民センター 多目的ルーム (千里ニュータウンプラザ 8F)

② 南千里地区公民館 視聴覚室 (千里ニュータウンプラザ 7F)

時間：13:30～16:30 <全 10 回>

※内容は変更になることがあります

	開 催 日	会 場	講 座 内 容	講 師
1	10/4(土)	公民館	多文化共生と日本語ボランティア	NPO 法人多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦
2	10/11(土)	市民センター	異文化コミュニケーション	大阪教育大学 教職教育研究センター 教授 森 実
3	10/18(土)	市民センター	外国にルーツをもつ子どもの日本語支援	大阪大学 日本学術振興会 特別研究員 櫻井 千穂
4	11/1(土)	公民館	他地域の日本語学習支援に学ぶ	ひまわり 21 代表 伊藤 美智代
5	11/8(土)	市民センター	やさしい日本語で話そう!	(一財)海外産業人材育成協会 日本語講師 澤田 幸子
6	11/15(土)	市民センター	演習① 活動のすすめ方	(一財)海外産業人材育成協会 日本語講師 澤田 幸子
7	11/22(土)	市民センター	演習② 模擬授業、活動実践	(一財)海外産業人材育成協会 日本語講師 澤田 幸子
8	11/29(土)	市民センター	演習③ 活動実践	(一財)海外産業人材育成協会 日本語講師 矢谷 久美子
9	12/6(土)	公民館	これからの活動に向けて	(一財)海外産業人材育成協会 日本語講師 澤田 幸子
10	2/21(土)	市民センター (予定)	活動をふりかえる	(一財)海外産業人材育成協会 日本語講師 澤田 幸子

対 象 地域日本語教室でボランティア活動をしている方・活動したい方、全 10 回参加できる方
※講座修了後、SIFA での活動を希望される方はボランティア登録ができます

定 員 35 人 (多数抽選)

申込み 下記①～④を明記し、はがきか FAX でお申込みください。9 月 12 日 (金) 必着。
① 名前 (ふりがな) ② 住所 ③ 電話番号 ④ 日本語ボランティア経験の有無

費 用 無料

主催

公益財団法人 吹田市国際交流協会 - SIFA
〒565-0862 吹田市津雲台 1-2-1 千里ニュータウンプラザ 6F

TEL: 06-6835-1192
FAX: 06-6835-6420

✉ info@suita-sifa.org
URL: http://suita-sifa.org/